

課題

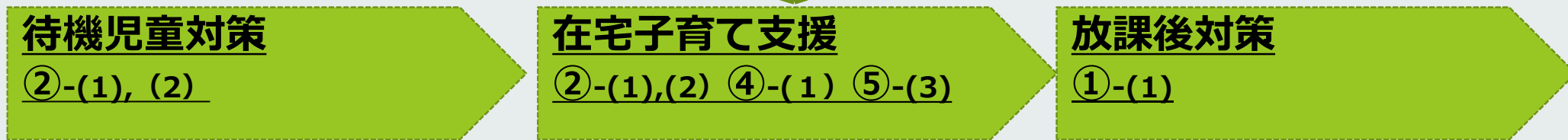
待機児童問題 在宅子育て支援 放課後対策



子どもの最善の利益を優先
保育の量のみでなく質を重視
困難を抱えた子どもと家庭への手厚い支援体制
地域の子育て力及び連携を強化
ワークライフバランスを踏まえた支援

留意すべきこと

- ・人工推計及びニーズ量の分析による適正な事業量の算出
- ・ニーズに適した利用者支援事業の実施
- ・関連計画との整合



計画見直し後のイメージ

5年後の将来像（目標）

各「評価指標」の達成

【子ども】

心身ともに健康に育ち、すみだに愛着と誇りを持つ気持ちが育まれている。

【子育て家庭】

安心して子どもを生子。子どもの尊い命を守りながら、生きがいを持って子育てをしている。

【地域（企業含む）】

地域の力によりみんなで子育てし、子どもの未来への可能性を引き出している。

在宅子育て支援

待機児童対策

放課後対策

197
の事業

事業の方向性

※5月中旬～6月中旬に実施する事業目標等に関する調査をふまえて修正